

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社松栄パナホーム熊本

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・パナソニックホームズ、パナソニックのハラスメント防止に向けたe-ラーニングを実施している。 ・24時間対応のホットラインがあり、ハラスメントを防止する体制を整備している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・社長自ら現場には最低でも3回向い、労働安全のためのチェックを行っている。 ・経済産業省「製品安全対策優良企業表彰」を受賞。 ・メンタルヘルス(心の健康)を確保するために、職場での心理的安全性(恐怖や不安を感じることなく、安心して発言・行動できる職場環境)実現に向けた24時間の対応ホットラインを整備している。 ・安全大会を実施している。(1回/年) ・産業医に相談できる体制づくりを行っている。			3						8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・社会保険労務士に相談しながら、必要に応じた就業規則の改定を継続的に行っており、従業員(正社員)の公正な待遇を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。 ・現場への直行、直帰の実施を行っている。 ・勤怠管理のシステムを導入し、厳格な労働管理を行っている。 ・コロナ対策としてテレワークの体制が構築されている。			3		5.5				8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 ・資格取得時の祝い金制度、資格手当の支給制度の福利厚生を整えている。 ・管理職の階層別会議を外部講師により行っている。				4	5.5				8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・スポーツジムの会員権を保有し、従業員への使用推奨を行っている。 ・同好会にてスポーツ推奨の取組を図っている。			3						8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・高齢者雇用を行い、アフターメンテナンスは経験豊富な熟練の人材にて対応している。 ・女性の管理職の積極的な登用を行っている。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・業者との打合せにWEB会議(ZOOM等)を活用している。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため従業員へマスクの配布、着用の徹底を図っている。 ・研修はリモートを含め分散した体制で実施している。 ・打合せ室にはパーティション、空気清浄器を配置している。			3						8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・社員へ1人1台PCを配付し、生産性向上に努めている。 ・取引先とのやり取りについては電子化を進めている。 ・一部カタログ等の電子化を進めている。 ・タブレットが支給されており、クラウドで一元管理している。									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●		【予定】令和4年6月にブライト企業の申請を行い、令和4年度の取得を目指す。			3	4					8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社松栄パナホーム熊本

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。 ・建築資材についてはノンホルムアルデヒド、フォースター規格をクリアしたものを使用している。 ・住宅向けグリーンガード認証を取得し、空気質に拘っている。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・【予定】令和4年10月までに簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出する。 ・ZEHの提案、設計、施工に努めており、ZEHの施工率はパナホームグループで全国一の水準。 ・PHV車の電力については風力発電で賄っている。 ・本社屋根に太陽光パネルを設置している。							7.3					13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】令和4年10月までに簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出する。 ・エコカーやLEDなどCO2排出の抑制に取り組んでいる。 ・社用車は一部PHVを導入している。 ・家全体を高性能断熱材で包み込み、地熱を活用しながら省エネに貢献している。 ・住宅用全館空調で2019年度省エネ大賞を受賞。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・グリーンガード認証の製品を利用しており、化学物質の拡散を抑制している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・資料の電子化、ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性保全に努めている。 ・現場における資源利用の削減や再利用を推進している。 ・建築資材のロスを出さない設計に努めている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・防災井戸を設置している。 ・節水型トイレの設置を推奨している。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.a					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・太陽光、風力発電、LED直管照明の提案・販売・施工を通じ、創エネ、省エネに取り組んでいる。 ・木質のマドラー、紙コップホルダーはFSC認証を使用している。 ・地熱を活用し、空気を取り入れることで省エネに貢献している。 ・コピー用紙には森林認証品を使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所に植栽を行い、緑の創出と保全に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・ZEHの提案、設計、施工に努めており、ZEHの施工率はパナホームグループで全国一の水準。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・優先木材の使用を行い、伐採時の合法性が確認できない木材については使用を行っていない。						6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・残材をコンテナボックスにて分別することでプラスチック削減に努めている。													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・現場への直行直帰を推奨し、環境配慮に努めている。 ・社用車にはPHV車を導入している。											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2	

